JELLY BEANS Group

2025年2月6日開示

「(開示事項の経過)株式会社Gold Starの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」補足資料

2025.2.7

本資料について

本資料は1月31日開示「株式会社Gold Starの株式取得(子会社化)に関する基本合意締結のお知らせの補足資料」の更新版になります。

更新ページは6ページ目になり、株式会社Gold Starの2024年12月期決算が確定したため、 その部分を更新しております。



Gold star 社 M & Aについて 企業・商品紹介



Gold Star社について

長く日本市場では外国のアイスの取り扱い量が少なくコンビニなどではハーゲンダッツを除くとほぼ取り扱われてこなかった現状です。しかし日本国内でのアイスクリーム市場は右肩上がりの数字でありその多くをコンビニが占めております。

日本のアイスクリーム市場現状

現在、日本のアイスクリーム市場は 2011 年(4,058 億円)から 2018 年までの 7 年間持続的に市場が拡大しており、 2019 年は異常気象の影響で前年度を下回りましたが、2021 年は 2018 年(5188 億円)より 72 億円増の 5258 億円として過去最高を販売記録になりました。

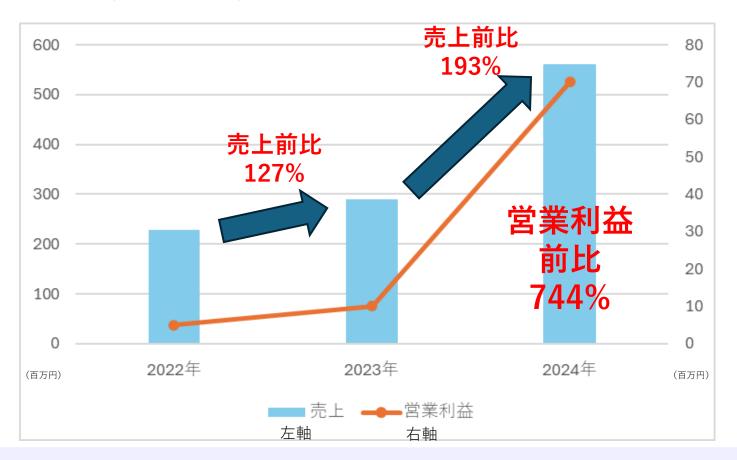


日本総務省が日本国内の2人以上世帯を対象に実施した家計調査によると、2021年の日本の1世帯当たりアイスクリーム支出金額は1万148円で、前年度に続き 2年連続1万円を超えた。 新型コロナウイルス感染症による外出自制で、家庭で手軽に食べられるデザートの一つとしてアイスクリームを求める消費者が増えたものと分析される。 アイスクリーム市場が拡大し続けているもう一つの要因として冬季需要増加が挙げられる。 アイスクリームメーカー各社が冬季にふさわしい 限定版アイスクリーム新製品を先を争って発売し、冬季需要拡大を牽引したものと分析される。 アイスクリーム市場は約4500億の市場であり、 主要メーカーが大半を占めている中、近年さまざ まな特徴があるアイスが増えてきました。

Gold star社は 若い層を中心に韓国食品が流行っている時代背景もありこの流れでコンビニ、スーパーなどへ一気に卸売を成功させた企業になります。韓国主要メーカーの独占権を保有している事も強みになっています。

Gold Star社について(実績)

GoldStar社の3か年の実績について、売上は2022年228百万円、2023年290百万円(前年比127%)、2024年559百万円(193%)と非常に大きく伸ばしております。営業利益では2022年4.8百万円、2023年9.4百万円(前年比195%)、2024年70百万円(前年比744%)とさらに大きく伸ばしている状況になっています。

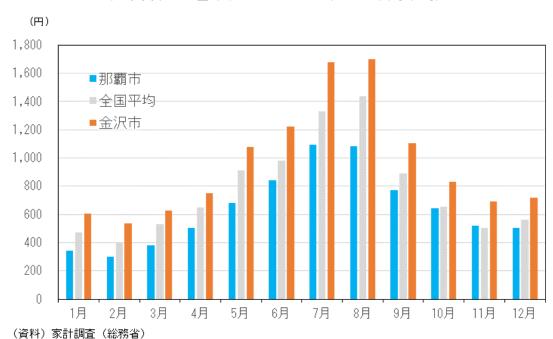


メディア掲載実績

夏以外でも 売れる アイス市場

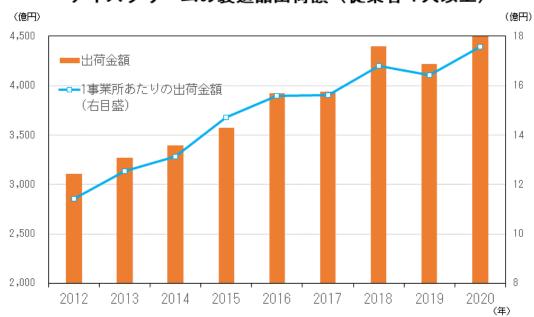
アイスクリームの月別支出額

(2人以上の世帯、2013~2022年の10年間平均)



右肩 上がりの 出荷数

アイスクリームの製造品出荷額(従業者4人以上)



(資料)工業統計調査(経済産業省、2018年及び2019年は総務省・経済産業省) 2015年及び2020年の数値は経済センサスー活動調査(総務省・経済産業省) なお、2020年の数値には個人経営の事業所は含まれない

弊社既存事業とのシナジー

本M&Aによる期待される 弊社の既存事業ならびにマーケティングのシナジー効果

若年層への ブランド認知の 強化と拡大

売上の底上げと セグメント分散 当社の株主優待 専用ECサイトでの ラインナップ追加

韓国コスメや アパレルとの相性 メディアや SNSマーケティング 効率化

メディア掲載実績







メディア掲載実績





人気商品1

2024年SNSでも大きくバズり人気を博した商品「クリーミーヨーグルトボール」









人気商品2

日本での販売独占権を取得した「冷凍10ウォンパン」



電子レンジ、または、オーブントースターで加熱後。中身はとろとろチーズが溶け出し美味しさたっぷり。





韓国では大ブームとなり売れ過ぎなどの話題から、 造幣局より貨幣の権利に関して指摘が入った事も (現在では問題なし)。

その他の人気商品

韓国著名人にも人気、SNSでの露出増加で人気が爆発中















